

チャンス・チャレンジ・チェンジ

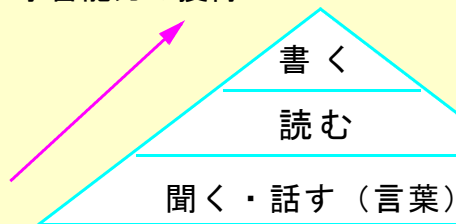
秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝



聞く力を高める支援



1 学習能力の獲得



聞く

学習の基礎



話す

2 聞く力とは・・・

- ・音が聞こえている（聴力）
- ・音の違いが分かる（音の弁別）
- ・多くの音から必要な音を聞き取る（音の選別・注意の集中と持続）
- ・言葉の意味が分かる（言語理解・知識）
- ・話を聞きながら（聴覚記憶）、要点をまとめて理解し、表現できる（言語思考力・表現・推理）



3 聞く力を高める「8つのポイント」

(1) 静かな環境をつくる

→教室全体を聞きやすい環境にする。黒板付近の掲示物を減らす。

(2) 子どもを引き付ける手立てを工夫する

→具体物を提示する、アイコンタクトで聞く構えをつくる、最初に活動の流れを示して見通しをもたせる、読み聞かせの場所を工夫する。

(3) ゆっくり、はっきり、短く、順序よく話す

→小さい子どもや発達障害のある子どもの聞く力、聞き取る力や聴覚記憶（把持）力は未熟なので、分かる言葉で、繰り返しを多くする。

(4) 複数の指示はしない（一時に一事の原則）

→複数の指示を聞き取ることが苦手なので、1回に1つの指示を出す。

→同時に複数の活動をすることが苦手なので、聞くときは他の活動をストップさせる。

(5) 視覚的情報を提示する（実物・イラスト・ジェスチャー）

→聴覚記憶（把持）力をカバーするためには、聴覚刺激よりも視覚刺激のほうが永続性があり、確実なので、注意を向けやすい、

→視覚支援とは、聴覚的短期記憶の弱さに対する支援である。

(6) 指示を復唱させる

→言葉の意味を理解しているか、その場で確認する。

(7) 楽しく聞く力のスキルを身に付ける（ソーシャルスキルトレーニング）

→しりとり、なぞなぞ、自己紹介、フルーツバスケット、旗あげゲーム、連想ゲーム、聖徳太子ゲーム等を学級で取り上げる。

(8) 伝言やお手伝いをお願いする

→意図的にお願いして、少しずつレベルをあげていく。

